




前腕皮弁術を受ける患者さんへ（入院日～術後10日目） No. 1

患者氏名

主治医：

受け持ち看護師：


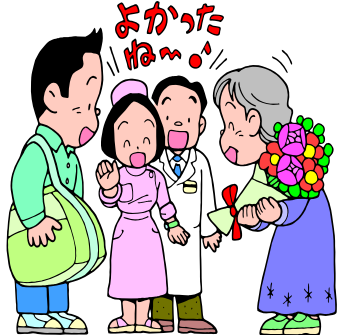
項目	月日	(入院日・手術前日)	(手術当日)	(術後1日目)	(術後2日目)	(術後3日目)	(術後4日目)	(術後5日目)	(術後6日目)	(術後7日目)	(術後8日目)	(術後9日目)	(術後10日目)	
達成目標		入院の目的が理解できる 入院時の説明が理解できる 手術の準備を整えることができる	手術後の安静を守ることができる 感染予防策を行うことができる											
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ		入院時、内服している薬の確認をします 抗血栓薬（血液を固まりにくくする薬）を 内服している場合は、中止しますのでお知 らしてください  インソジガーグルでの口腔ケアを開始しま す  毎朝、病棟の処置室で診察があります	<手術前> 手術の前に、手術着に着 替えます必要時、弾性ス トッキングを履きます 手術が2番日以降の場 合、9時頃から点滴が開 始となります 朝の内服薬は、医師が指 示したものを内服します 手術前に口腔ケアを行いま しょう <手術後> 手術後は、ICUへ入室し 全身管理を行います	抗生物質の点滴を2回/日 （朝・夜）行います 創部の腫れを改善させる点 滴を投与します	朝・夕の抗生物質 の点滴は続きます 創部の腫れを改善 させる点滴を投与 します	朝・夕の抗生物質 の点滴は続き ます 創部の腫れを改 善させる点滴を 投与します	朝・夕の抗生物質 の点滴は続き ます	朝・夕の抗生 物質の点滴は 続きます	朝・夕の抗生 物質の点滴は 続きます	医師が持続点滴 の必要の必要性 を判断します				
毎朝、病棟の歯科処置室で診察や処置を受けます。歩行できない時には、看護師が車椅子でお連れします。平日8:30～、土日9:00～														
検査		採血	胸部レントゲン	採血 胸部レントゲン	採血 胸部レントゲン	採血	採血	採血	採血	胸部レントゲン	採血		消化管造影	
活動・安静度		制限はありません	手術後は、ベッド上安静 となります	ベッド上安静です	状態に合わせて、安静度が拡大していきます									
食事		夕食までは制限はありません  麻酔科医師の指示に沿って、絶食や水分制 限を行います	1日絶食です	絶食です				鼻の管から流動食の注入を行います				消化管造影検査 を行い、問題な ければ嚥下食が 開始となります		
清潔		制限はありません 熱がなければ入浴可です 出来ない時は、温かいタオルで体拭きをし ます	入浴はできません	入浴はできません 温かいタオルで体を拭きます。傷の状態をみてシャワー浴ができるようになります。										
排泄		制限はありません	手術室で尿の管を入れま す	尿の管が入っています 便はベッドに寝たまま挿し込み便器にします	歩行できる状態であれば尿の管を抜きます その後は制限はありません									
患者様及びご 家族への説明 栄養指導 服薬指導		入院後は、病棟内をご案内し入院生活につ いて説明します  手術のオリエンテーションを行い、手術当 日や翌日以降の流れを説明致します。また、 一緒に術前の準備を致します。 <準備して頂く物品> バスタオル2枚、T字帯、三角巾、片胸 帯、胸帯、ティッシュ、薬のみ、スプーン  口腔ケアの方法は、別紙で説明します  医師から手術についての説明があります	手術後は創部を安静に保つ必要があり、口の中を濡らす事ができません 看護師が綿棒で消毒します				口腔ケアが可能になります スワブなどを用いてケアを行います							

前腕皮弁術を受けられる患者さんへ（術後11日目～退院まで） No. 2

患者氏名

主治医：

受け持ち看護師：

項目 \ 月日	(術後11日目～)	(術後12日目～)	(術後29日目)	(術後30日目)	(退院日)
達成目標	感染予防策を行うことができる		退院後の生活について理解できる		
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ	<p>毎朝、病棟の処置室で診察があります 毎朝、病棟の歯科処置室で診察や処置を受けます。歩行できない時には、看護師が車椅子でお連れします。平日8:30～、土日9:00～</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>				
検査	定期的に採血やレントゲンの検査があります		採血	CT 胸部レントゲン	
活動・安静度	状態に合わせて、安静度が拡大していきます				
食事	嚥下食Bが摂取できます	嚥下食Cへ変更となります			
清潔	シャワー浴				
排泄	制限はありません				
患者様及びご 家族への説明 栄養指導 服薬指導	綿棒やスワブなどを用いて口腔ケアを行います 歯科衛生士からの口腔ケアも行われます		退院が近くなったら、看護師が退院指導を行います 退院後の生活に関して、何か不明な点がありましたら、いつでもお聞き下さい 薬剤師からの服薬指導があります 退院後の食事について、栄養士から指導を受けることもできます		